

八頭町地球温暖化対策実行計画の実施状況の公表 (平成26年度実績)

■ 削減目標

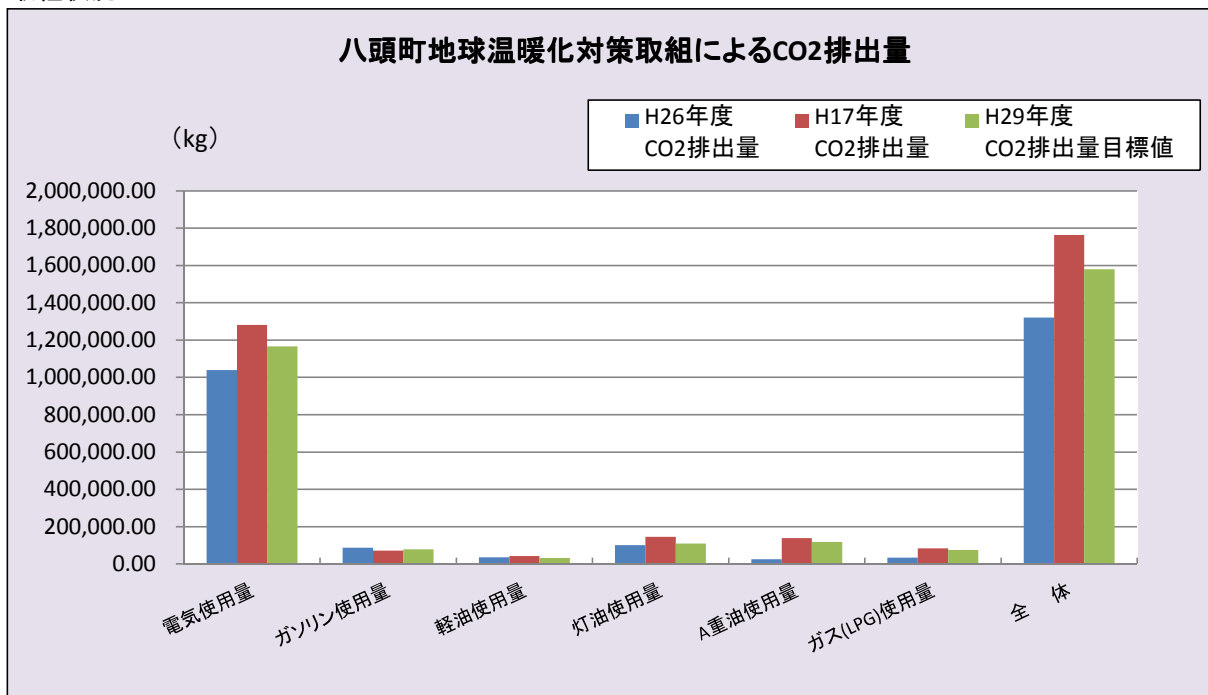
本計画は、平成22年8月に平成21年度実績をもとに目標値を見直し、平成24年度の二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量を、平成17年度対比で9.0%削減することを目指してきました。現在、計画第2期(平成25年度～平成29年度)として、二酸化炭素を対象とした温室効果ガス総排出量を、平成17年度対比で10.0%削減することを目指して取組みを進めています。

■ 各取組項目別の削減目標と平成26年度使用状況

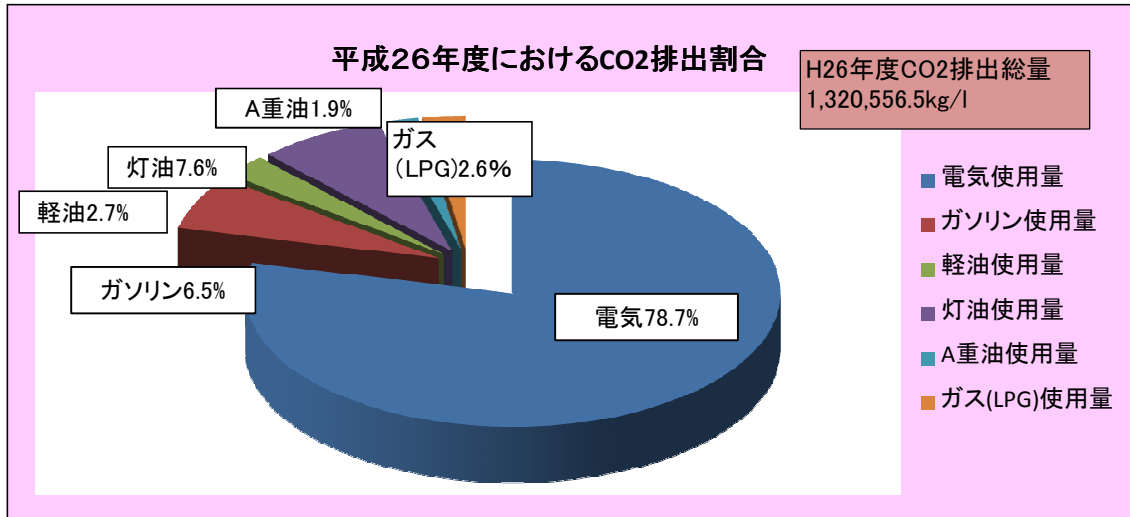
項目	平成29年度目標 (対平成17年度比)	単位	(基準年) 平成17年度 使用量等	平成26年 度 使用量等	平成26年 度 CO ₂ 排出量 (kg/l)	使用量等 削減率	平成26年 度 達成状況
電気使用量	9%以上削減	kwh	1,760,822.0	1,444,593.0	1,038,662.4	18.0%	○
ガソリン使用量	9%増までに抑制	ℓ	30,876.5	37,163.8	86,220.0	-20.4%	×
軽油使用量	24%以上削減	ℓ	16,463.5	13,918.0	35,908.4	15.5%	○
灯油使用量	24%以上削減	ℓ	58,020.0	40,308.0	100,366.9	30.5%	○
A重油使用量	15%以上削減	ℓ	51,126.0	9,430.0	25,555.3	81.6%	○
ガス(LPG)使用量	11%以上削減	m ³	12,713.5	5,127.8	33,843.5	59.7%	○
紙使用量	可能な限り削減	枚	—	2,526,484.0	—	-7.6%	—
水道使用量	可能な限り削減	m ³	—	22,186.0	—	(※49.6%)	○
可燃物排出量	可能な限り削減	kg	—	84,115.8	—	(※-113.1%)	×
グリーン購入	環境配慮型製品の 積極的購入適合率	%	—	99.3	—	(※11.7%)	○
全体	CO ₂ 排出量を10%削減	平成17年度CO ₂ 排出量			1,762,918.1	25.1%	○
		平成26年度CO ₂ 排出量			1,320,556.5		

(注)表のうち、()の数値はH17年度使用量とH26年度使用量で算出した削減率

■ 取組状況



■ エネルギー別CO₂排出割合



■ 各項目ごとの取組結果

項目	取組結果
電気使用量	目標値(対H17年度実績値)9%以上削減に対して、18.0%減となりました。H24年度に学校給食共同調理場の統合、オール電化の導入により電気使用量が大幅に増加したものの、昨年のH25年度と比較すると4.6%減となり、全国的な節電対策の推進と共に職員の節電意識もさらに広がってきている結果と思われます。また、クールビズやウォームビズを推進し、「2014節電対策」を基本に電気機器類の適正使用を進めた結果と思われますので、継続して取組を行います。
ガソリン使用量	目標値(対H17年度実績値)9%増までに抑制するに対して、H20年度の9.2%増からH24年度の15.6%増までは微増でありましたが、昨年度のH25年度からは24.1%増となり、大幅に増えました。しかし、公用車の使用回数の減や乗り合わせ、また電気自動車の導入などにより、H26年度は昨年度より使用量が減り、20.4%の増と少し改善されました。引き続き『公用自動車使用手順書』によりエコ運転に心がけ、電気自動車を有効に活用しながらH29年度目標である9%増までの抑制を目指し、取組を行います。
軽油使用量	目標値(対H17年度実績値)24%以上削減に対して、H24年度20.4%減、H25年度8.4%減と削減幅が減る方向にありましたが、H26年度は15.5%減と削減率が改善されました。マイクロバス運行状況の見直しを行い経済的な走行を心掛けるなど等、今後も引き続き、目標値(対H17年度実績値)24.0%以上削減を目指します。
灯油使用量	目標値(対H17年度実績値)24%以上削減に対して、昨年のH25年度以上の30.5%の削減ができました。気候の影響もありますが、灯油使用施設における職員の意識改革やウォームビズへの取組み、また町民への啓発に努めた結果であると考えられますので、今後も24%以上の削減を目指します。
A重油使用量	目標値(対H17年度実績値)15%以上削減に対して、81.6.0%の削減ができました。H24年度の学校給食共同調理場の統合でオール電化にしたことにより、学校給食共同調理場でのA重油の使用がなくなった上、昨年のH25年度と比較して保育所での省エネに向けた取り組みの成果が表れ、H26年度は大幅に削減ができました。今後も業務への支障や健康面等に留意しながら、削減への取り組みを継続していきます。
ガス(LPG)使用量	目標値(対H17年度実績値)11%以上削減に対して、59.7%の削減ができました。H24年度の学校給食共同調理場の統合に伴いオール電化したことで大幅に削減されたのち、削減率が横ばいとなっています。今後もA重油同様、業務への支障をきたさないよう無駄を省きながら、削減に向けた取組みを推進します。
紙使用量	H22年度から購入量を根拠として集計を行っていますが、それ以降H24年度の2,056,850枚を最低とし、H25年度は微増の2,182,477枚、H26年度は更に増えて2,526,484枚となりました。H27年度の保育所や中学校の統合を控えた事務の増加に伴う結果であると考えられます。今後も裏面使用やミスコピーの削減等に努め、削減に向けた取組を行います。
水道使用量	目標値(対H17年度実績値)可能な限り削減に対して、昨年のH25年度より多い39.1%の削減ができました。今後もすべての施設において節水に努め、啓発も行っていきます。
可燃物排出量	目標値(対H17年度実績値)可能な限り削減に対して、昨年H25年度と比較し2倍弱の排出量となりました。主に機構改革や保育所、学校の統廃合による清掃や整備等で例年より多くの廃棄物が排出されたことによるものであると考えられます。今後も廃棄と、リサイクルできるものとの分別を徹底し、可燃物の削減に努めます。
グリーン購入	目標は「環境配慮型製品の積極的購入」で、H26年度のグリーン購入適合率は99.3%でした。H17年度に比べ、購入率は11.7%の増です。代用品がないものを除き、グリーン購入基本方針に基づき、指定物品の100%グリーン購入を目指します。

■ その他の取組

ペットボトルキャップリサイクル

町内の公共施設にペットボトルキャップの回収ボックスを設置。住民の方からもキャップの回収を行い、回収業者へ引き渡しています。

※平成26年度中における回収量

226.7kg	約 68,360個
---------	-----------

■ まとめ

平成26年度の二酸化炭素を対象として温室効果ガス総排出量は、平成17年度と比較して全体で442,361.6 (kg/l)削減することができました。これは、25.1%の削減率となり、すでに平成29年度の目標を達成しています。しかし、項目別に見ると未だ達成されず、目標値に届いていない項目もあつたり、年度によってばらつきも見られます。現在の削減率を更に増やしていけるよう引き続き目標達成に向けて努力します。

特にガソリンの使用量、紙の使用量については、職員一人一人が更なる削減への意識を高め努力する必要があります。ガソリンの使用量については、再度『公用車使用手順書』に沿った運用を心掛け、公用車を適切に維持管理したり、経済的な走行を常に意識するよう推進していく必要があります。また、電気自動車を有効に活用し、今後新規に公用車を導入する際には、できるだけ低公害車を優先するなどの取り組みも必要と考えます。

紙の使用量については、増加傾向を食い止めるため、ミスコピーを減らし、できるだけ両面コピー・印刷を実施して、支障のない範囲で裏面使用を積極的に利用して削減に向けて取り組む必要があります。

可燃物排出量については、リサイクル資源となる廃棄物を正しく把握して分別を徹底したり、リサイクルされた製品やリサイクル可能な製品を積極的に購入するなど、排出量を抑制するだけでなく、廃棄時を考えた取り組みも必要です。

その他の項目についても、職員一人一人が省エネや環境保全意識を常に持ちながら、具体的な計画に基づき、日々の取組を継続していきます。